

**令和7年度**

**学校評価（自己評価）報告書**

**岩見沢市立岩見沢小学校**

## 令和7年度 岩見沢市立岩見沢小学校 学校評価報告書

学校名	岩見沢市立岩見沢小学校							
校長名	小山田 学				教職員数		名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	2	1	2	2	2	3	14
児童生徒数	38	38	30	36	43	38	15	238
住 所	岩見沢市2条東6丁目2番地							
電 話	0126-22-0256							
FAX	0126-22-2590							
URL	無し							
e-mail	iwamizawas@edu.hamanasu.com							

## I 学校教育目標

## ◇めざす児童像

- ◎ 落ち着いて考える子ども ～ 「よく考えわかりやすく伝え合う子ども」
- ◎ 思いやりのある子ども ～ 「人の気持ちがわかる温かさのある子ども」
- ◎ 元気で明るい子ども ～ 「元気なあいさつを進んでできる子ども」

## II 中期及び単年度の具体的目標

## 1. R7重点目標 (=目指す学校像)

「わくわく登校、にこにこ下校」 ≠ いやいや登校、とぼとぼ下校

## 2. 学校経営のコンセプト (方向性・軸)

(1) 2040年以降の社会を見据えた「持続可能な社会の創り手」の育成

①「従前の一斉授業(単線型の授業)」主体から「岩見沢型ピア・サポート」を土台とした「子ども一人ひとりを主語にした協働的な学習(複線型の授業)」の移行への質的転換を促進する。

②カリキュラム・マネジメントの充実を通じて、Society5.0の時代において活躍できる、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた、未来を切り拓く子どもたちを育てる。

(2) (生徒指導) 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

①※MLA(マルチレベルアプローチ)に基づく安全・安心を基盤に、CAやPTAと連携し、外部人材とICTを活用した質の高い授業や個別最適・協働的な学びを推進。また、地域資源を生かした体験活動を通じて、児童が達成感を得

ながら、自己肯定感・自己有用感・自己効力感を育む教育環境を整備し児童のウェルビーイングを高める。(児童)

- ②学校のあたりまえを問い直し、心理的安全性の確保も重要視しながら、働き方改革や業務改善を敢行し、働きがいが高まる(=ウェルビーイングの高い)勤務状況を創出する。(学校)
- ③子どもたちの活動が地域や社会にウェルビーイングをもたらし、三方が幸せや豊かさを享受できる教育活動を展開、発信する。(保護者・地域)

### 3. 職員の合い言葉

【全般】 「私たちは今、子ども(日本)の未来に触れている」

【危機管理】 「大きく捉えて小さく収める」「胸騒ぎの感性を磨く」

## III 各種具体的な計画

### 【新しい時代に対応できる力の育成】

- (1)一人一人の子どもを主語にした教育づくりの実現(自立した学習者の育成)
  - ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、教師主導から学習者主体による授業の転換
  - ②「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくりによる確かな学力の追究
  - ③身に付ける資質・能力を明確にし、子どもとの対話により、「教える」べきことを教え、考えさせる」べきことを考えさせる授業の展開
  - ④「学習スキルの向上」と「学習ルールの徹底」による子どもたちの学びの形成
  - ⑤「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく学習集団づくりの強化
  - ⑥読解力・創造力を高める読書活動(一斉読書、家読、コンクール等)と図書館活用の充実。(独自)
- (2)職員1人1人の当事者意識の醸成による「組織体」としての学校力を高める取組の一層の推進
  - ①授業時数特例校制度の活用等をはじめとしたカリキュラム・マネジメントに基づいた特色ある教育課程の工夫・改善
  - ②学校として統一性・一貫性のある校内研修の推進と活性化
  - ③「学校づくり=授業づくり」の視点に立った「学び続ける学校」への組織的な改善
- (3)小中が一貫した学力向上の取組の推進
  - ①標準学力検査、全国学力・学習状況調査による検証と対策の促進徹底
  - ②コミュニティ・エリアにおける義務教育9カ年を見通した組織的な学力向上と協働によるピア・サポートの推進

- ③小中学校の円滑な接続に向けた「目指す子ども像」を共有した小中学校の連携強化
- (4) ICTの効果的な活用と情報活用能力を高める教育の推進
  - ①GIGA スクール構想による1人1台端末を効果的に活用した授業づくりの推進
  - ②デジタル教材等を活用した授業実践と基礎学力の定着に向けた取組の推進
  - ③1人1台端末の有効活用を含めた家庭での学習習慣の醸成と検証
- (5) 外国語指導助手（ALT）の有効活用と「英語が使える岩見沢の子ども」の育成
- (6) 北海道教育大学岩見沢校との連携を図った教育活動の強化

#### 【豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進】

- (1) 子どもの自尊感情・自己有用感・達成感・規範意識を育てる取組の推進
  - ①研修成果の組織的な還元に基づく支持的・親和的な人間関係を育む「岩見沢型ピア・サポート」の全市的な推進
  - ②子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の徹底
  - ③ふるさとに愛着と誇りを持つ「ふるさと教育」の推進
  - ④命を大切にする心、他人を思いやる心など、より良い生き方を創出する「心の教育」の推進（道徳教育の充実）
- (2) 感性を磨き、自ら学び考える力を育てる読書活動（一斉読書、家読）の充実
- (3) 新体力テストによる体力の実態把握と体力向上の取組（1校1実践）、9カ年を見通した運動の習慣化
- (4) 全国学力・学習状況調査を踏まえた「望ましい生活・学習習慣」を育む取組の推進
- (5) 自らの判断で命を守ることができる力を育成する健康・安全教育の推進

#### 【育ちと学びを支える教育環境の充実】

- (1) 「岩見沢市いじめ防止基本方針」に基づく、「いじめの積極的な認知」と「いじめ見逃しゼロ」をはじめとした迅速かつ組織的ないじめ対応の充実
- (2) 「教育支援センター」と学校との連携によるいじめや不登校、悩み不安を持つ子どもや保護者、学校への支援の充実
- (3) 子ども一人一人の能力や可能性を伸ばす特別支援教育の充実
- (4) 将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育の推進
- (5) 多様な学びの場と機会の積極的な提供（OKスタディ、土曜英会話、学び合い広場等の活用）
- (6) 教育研究所の調査・研究及び養成・研修機能の効果的な実施
- (7) キャリア・ステージに応じた資質能力の向上を図る取組の推進

- (8) コミュニティ・エリア (CA) 単位における地域が参画した特色ある教育活動の充実
- (9) 適正な規模による学校教育の充実のための小・中一貫教育と学校適正配置計画の推進
- (10) 学校・家庭・地域の連携による街頭補導や有害環境の改善
- (11) 低年齢化するデジタル端末等の利用に対応した啓発資料・出前講座等による情報モラル教育やメディアリテラシーの向上

#### 【信頼と期待に応える開かれた学校づくり】

- (1) 子どもを徹底して大切にすると向き合う教育の実現に向けを大切にした「学校における働き方改革」の充実
- (2) 未来を生き抜くために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の着実な実施
- (3) 中学校区学校運営協議会 (コミュニティ・エリア) を基盤とし、学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともに歩む学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進
- (4) 学びの連続性を実現する校種間の連携・交流の促進 (保こ・幼・小・中・高・大の連携)
- (5) 子ども安全・安心を確保する取組の継続 (学校・地域連携)

#### 【学校給食の充実】

- (1) 栄養教諭による授業や施設見学を通じて、子どもたちが食についての関心を高め、感謝の気持ちや知識と望ましい食習慣を身に付けさせる食育の充実
- (2) 子どもの命と健康を守ることを最優先とした食物アレルギー対応への取組の推進

### IV 各種評価結果と改善策

#### ① 知識・技能の適切な目標設定について

前期と比較すると、教職員の A 評価は約 5 ポイント伸びており、肯定的な評価が定着している。一方で、保護者の評価では A 評価がわずかに微減し、B 評価 (おおむね十分) の割合が増えている。今後は、児童の実態をより正確に捉え、学習のゴールを明確に示すことで、児童自身が「分かった・できた」と実感できる授業の「質の転換」に継続して努める。

#### ② ICT の効果的な活用について

前期と比較すると、教職員の A 評価が約 10 ポイント上昇し、懸念されていた D 評価も払拭されている。教職員の間で授業での ICT 活用が日常化した成

果といえる。保護者評価は安定しているが、今後は教職員の活用スキル向上に留まらず、児童が自らの学びを深めるために ICT を主体的・効果的に使いこなせるよう、活用場面を精査した研修を推進していく。

#### ③ 児童との対話・学級経営について

前期と比較すると、児童・保護者ともに依然として一部に C・D 評価が見られる。「安心・安全」な学校づくりの基盤として、改めて子ども一人一人の思いに寄り添う姿勢を強化し、自己肯定感を高める指導の充実に努める。また、保護者がより相談しやすい環境を整え、迅速な対応を通じて信頼関係の構築を積極的に図る。

#### ④ 集団作りと WinWin の関係について

前期と比較すると、教職員の A 評価が約 10 ポイント大幅に上昇し、指導への手応えが表れている。保護者の肯定的評価も向上傾向にある。今後もよりよい集団づくりを継続するため、「岩見沢型ピア・サポート」を全校で実践し、児童がお互いを認め合い、助け合える人間関係を構築できるよう児童理解と指導に努める。

#### ⑤ 「笑顔」と「ありがとう」の関係づくりについて

前期と比較すると、教職員および保護者の A 評価がともに上昇しており、学校と家庭の両面で感謝の言葉を交わす意識が高まっている。児童の肯定的な回答も高い水準を維持している。今後は、行事や児童会活動などの様々な場面で、児童がさらに主体的・意図的に他者を意識して笑顔や感謝を広げられるよう、計画的な取り組みを推進する。

#### ⑥ 児童の様子 of 積極的な伝達について

前期と比較すると、教職員・保護者ともに A 評価が約 5～10 ポイント向上した。連絡アプリ「テトル」等の活用が浸透し、タイムリーな情報共有が行われている成果といえる。今後も、デジタルと対面の良さを組み合わせ、保護者の不安や期待に寄り添った迅速かつ丁寧な情報発信に努め、学校での頑張りをより具体的に伝えていく。

#### ⑦ 健康・体力向上に向けた学校づくりについて

前期と比較すると、教職員の A 評価が約 10 ポイント以上上昇し、意識の変容が顕著である。保護者の肯定的評価も大幅に伸びている。これは体育の授業改善や運動機会を増やす取り組みが評価されたものである。今後は、児童が「自らの健康課題」に気づき、主体的に体力を高める工夫ができるよう、実践的な指導を継続する。

#### ⑧ 安心・安全な学校づくりについて

前期と比較すると、教職員・保護者ともに A 評価が約 10 ポイント伸び、肯定的な評価が広がっている。各種訓練や防犯教室などの安全対策が適切に実

施されている。今後は、これまでの活動に加え、地域や保護者と連携した安全教育をさらに充実させ、児童が自ら危険を回避する能力を身に付けられるよう、より安全・安心な学校づくりを推進する。

#### V 学校関係者評価を受けての改善策等

- ・次頁以降に掲載

「2025 前期 学校評価アンケート及び記述回答（結果集計）」

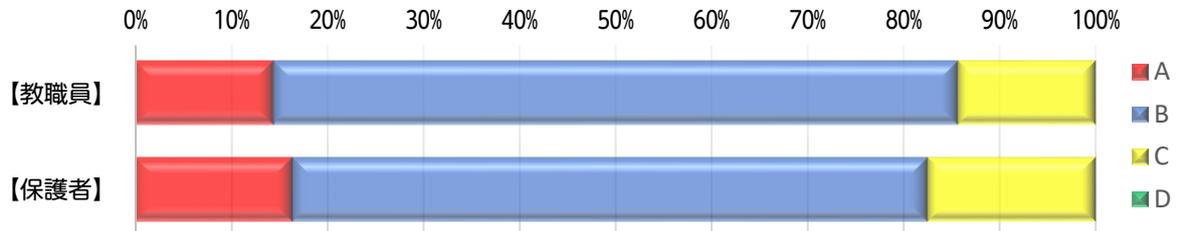
「2025 後期 学校評価アンケート及び記述回答（結果集計）」

# 令和7年度 前期学校評価アンケート 結果報告書

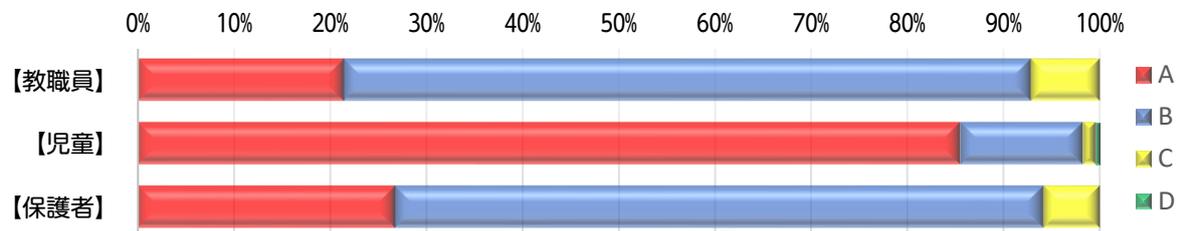
令和7年8月29日 岩見沢市立岩見沢小学校

〈 A-十分 B-おおむね十分 C-やや不十分 D-不十分 〉

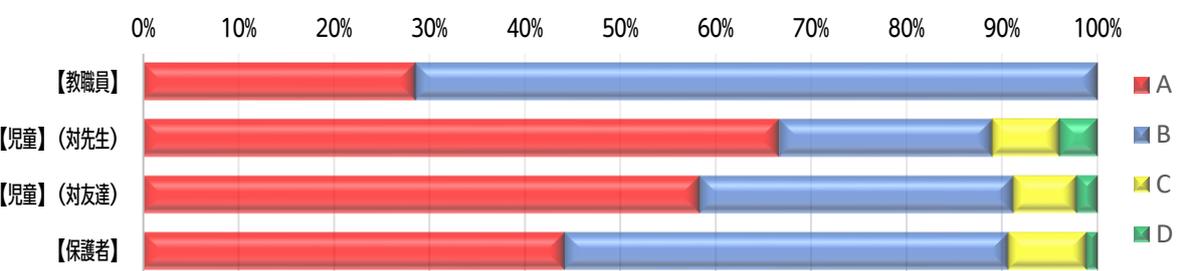
- ① 知識・技能の適切な目標設定を行っている (教職員)  
 お子さんは、学校の学習内容をしっかりと理解している (保護者)



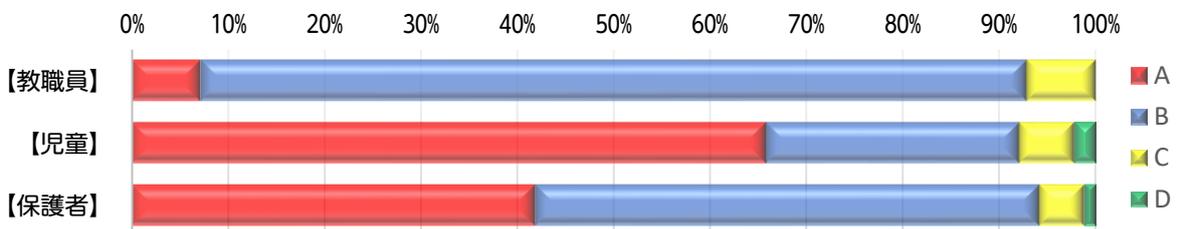
- ② 目的を明確にし、ICTを効果的に活用している (教職員)  
 授業で大型テレビ、iPadを使っていますか (児童)  
 お子さんは、学年相応のICT機器を使う知識や技能を身に付けている (保護者)



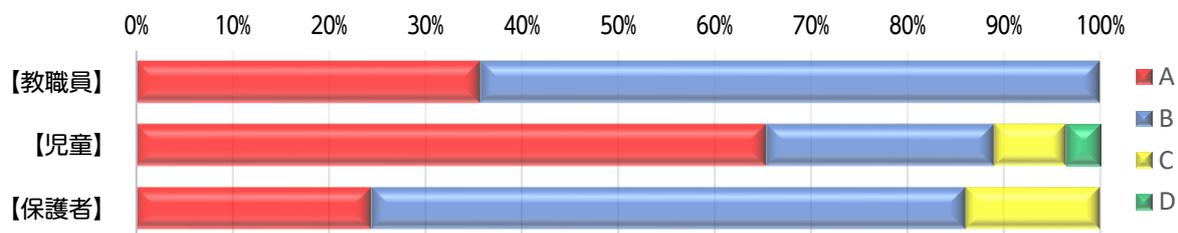
- ③ 児童との対話を意識し、児童の思いが生きる学級経営や教育活動を行っている (教職員)  
 先生は、よく話を聞いてくれますか (児童)  
 友達の話をよく聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか (児童)  
 学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすくなっており、それらに適切に対応している (保護者)



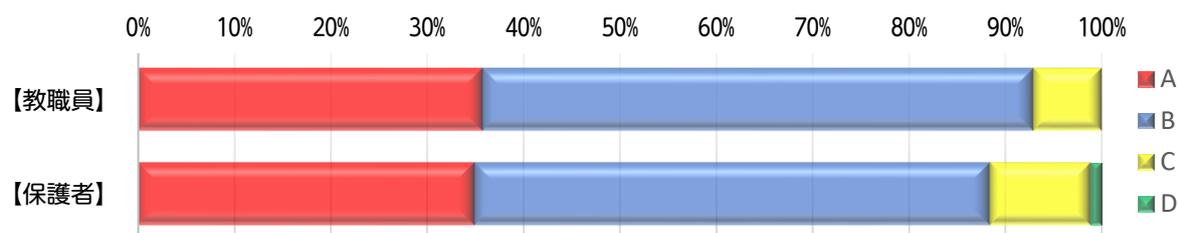
- ④ 相手を受け入れWinWinの関係を築く集団作りを意図して指導している (教職員)  
 困っている人がいたら助けて、友達と仲良く生活していますか (児童)  
 学校は、子どもの努力を認めたり励ましたり、温かく接している (保護者)



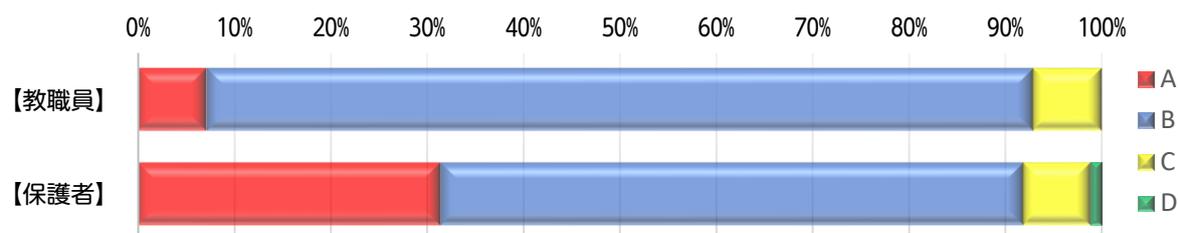
- ⑤ 「笑顔」で「ありがとう」と言い合える関係づくりを意図して指導している (教職員)  
「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしていますか (児童)  
お子さんは、「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしている (保護者)



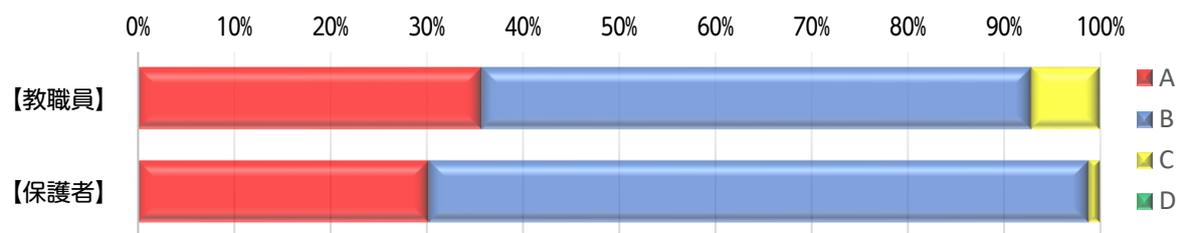
- ⑥ 通信・面談・電話等で、子どもたちの様子を積極的に伝えている (教職員)  
学校は、子どもたちの学校での様子をわかりやすく伝えている (保護者)



- ⑦ 健康・体力向上に向けた学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)  
学校は、健康・体力向上に向けた教育活動を行っている (保護者)



- ⑧ 安心・安全な学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)  
学校は、安全対策 (各種訓練、防犯教室等) を適切に行っている (保護者)



学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。また、学校改善のアイデアとして6名の方から記述をいただきました。アンケートの結果を生かし今後も学校改善を進めてまいります。

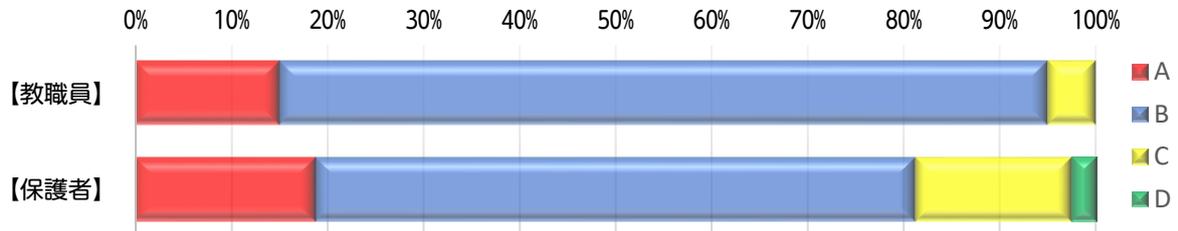
保護者からの記述回答一覧	学校評価アンケート への学校からの回答
<p>放課後はまっすぐ家に帰ってきてと、本人には伝えているのですが、自宅が遠く、お友達のお家は途中にあるため、帰ってくる前に一緒に遊んでしまい、帰ってくる時間が遅くなってしまふ日があります。実は心配して探しに行くこともあります。特段改善していただきたいということはないです。一報程度なので、深刻に考えていただかなくても大丈夫です。息子にはこれからも自宅で伝えていきます。いつもありがとうございます。</p>	<p>学校のきまりとして寄り道はしないこととなっていますが、「きまり」の有る無しにかかわらず、何よりもお子さんの安全のため、そして、保護者に心配をかけないためにも必ず家に帰り、所在を明らかにして遊びにでかけるなど、学級内でも指導していきます。</p>
<p>こちらの都合で申し訳ないのですが、家のゴミ系の提出物の案内(トイレトペーパーの芯や、空箱、トレー)が近々で、用意が大変な時があるため、もう少し猶予をいただきたいです。トイレトペーパーの芯は2倍巻きを購入しており、なかなか芯が発生しない。あつてもすぐ捨ててしまうため提出のために購入したり周りに協力を依頼したり必死です。様々な経験をさせていただいて感謝しておりますので、可能な限り、ご配慮のほどよろしく願います!</p>	<p>図画工作等の教材準備のご案内に関して、準備期間が短いことでご負担をおかけしております。今後は、2~3週間の猶予を持たせてのお知らせに努めて参ります。</p>
<p>配布プリントの一覧みたいなものをテトルでも配信していただくと、子供が持って帰ってきているか、親に見せるものを見せているか確認しやすいので家庭での声かけがしやすく思います。</p>	<p>「tetoru」の送信については、たくさん送信する配付物があるのでできるだけ最小限に選定して送付しています。お子さんから保護者に、学校であったできごとや必要なことをきちんと伝えたり話したりできるように指導します。保護者の皆様からもお声がけをお願いします。</p>
<p>安全対策は、学校の授業で色々子供達に伝えていと思うのですが、交通ルール?を守らないお子様がたくさんいるので、そう言うことを教える授業も取り入れて欲しいです。学校の行き帰りのおふざけが多くて道路に飛び出したり、歩道を塞いで、気付いても避けてくれない子がたくさんいます。</p>	<p>登下校中の交通ルールやマナーに関する課題については、たいへん重く受け止めております。交通安全教室に加え、定期的に「交通ルールの必要性」や「危険な行動が与える影響」について自分事として考える指導を実施して参ります。保護者の皆様からも日常的にお子さんの命や安全を守るための指導やお声がけのご協力をお願い致します。</p>
<p>いつも手厚く指導して頂きありがとうございます。去年から無くなったクラス写真ですが、子供のタブレットに入れて貰う形でも構わないので撮って頂けると思い出として残るのでありがたいです。</p>	<p>近年、SNS等インターネット上での情報拡散リスクが高まっていることや個人情報保護の観点から、お子様のタブレットへのデータや写真等の提供は、原則として行っておりません。集合写真を含め、子どもたちの学びや活動の場面については学校ブログをご覧ください。</p>
<p>いつもありがとうございます。上の子の行事では先生は忙しい中だったと思いますが、子供たちの様子を何度もブログにあげて下さり、こちらもワクワクしながら見ていました。下の子も先日配布物に関してお手数かけてしまいましたが、色々対応していただきました。担任の先生以外からも子供の様子を聞いたりするので、一人一人によく目が行き届いているように感じています。いつも丁寧ありがとうございます。これからも毎日楽しく通って欲しいと願っています。</p>	<p>たいへん心温まるご意見をありがとうございます。これからも、ブログをはじめ、学校・学級通信を通して、子どもたちの生き生きとした学校生活や学習活動の様子について、リアルタイムにわかりやすくお伝えできるように努めて参ります。今後も、よりよい学校づくりのため、お気づきの点やご提案がございましたら、遠慮なく学校までお声をお寄せください。</p>

# 令和7年度 後期学校評価アンケート 結果報告書

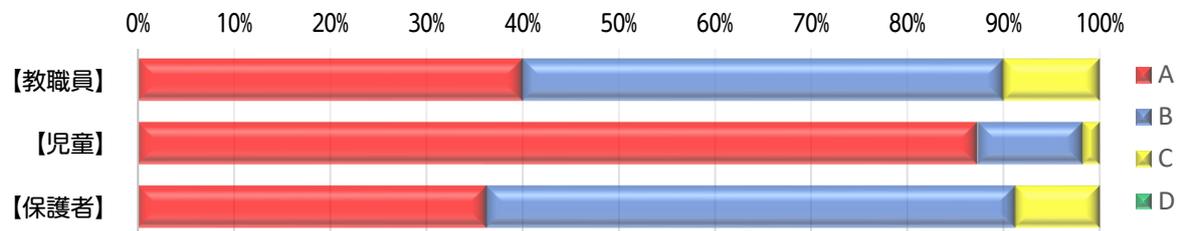
令和8年1月23日 岩見沢市立岩見沢小学校

〈 A-十分 B-おおむね十分 C-やや不十分 D-不十分 〉

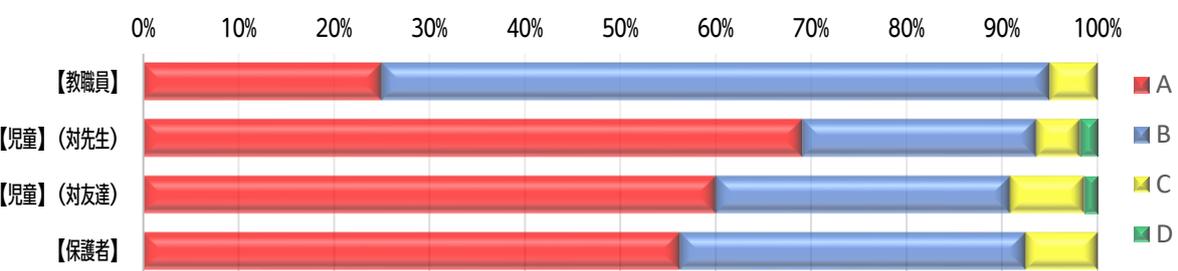
- ① 知識・技能の適切な目標設定を行っている (教職員)  
 お子さんは、学校の学習内容をしっかりと理解している (保護者)



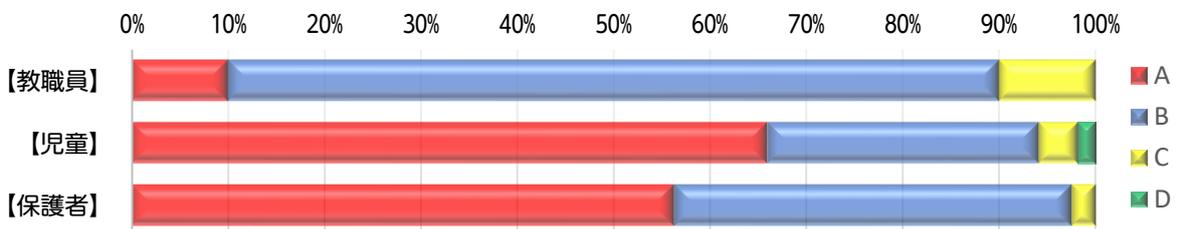
- ② 目的を明確にし、ICTを効果的に活用している (教職員)  
 授業で大型テレビ、iPadを使っていますか (児童)  
 お子さんは、学年相応のICT機器を使う知識や技能を身に付けている (保護者)



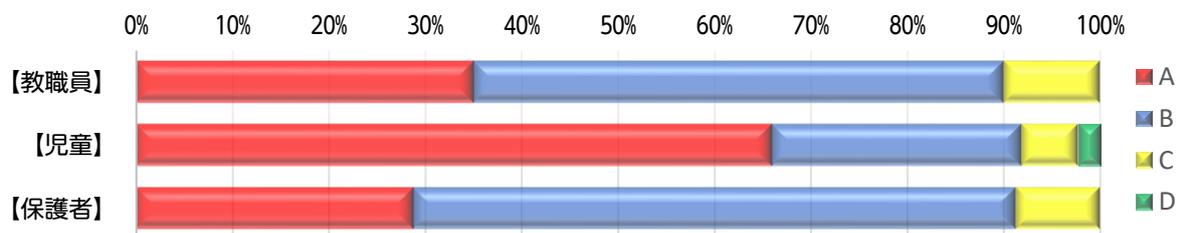
- ③ 児童との対話を意識し、児童の思いが生きる学級経営や教育活動を行っている (教職員)  
 先生は、よく話を聞いてくれますか (児童)  
 友達の話をよく聞いたり、自分の意見を伝えたりしていますか (児童)  
 学校は、保護者にとって連絡や相談がしやすくなっており、それらに適切に対応している (保護者)



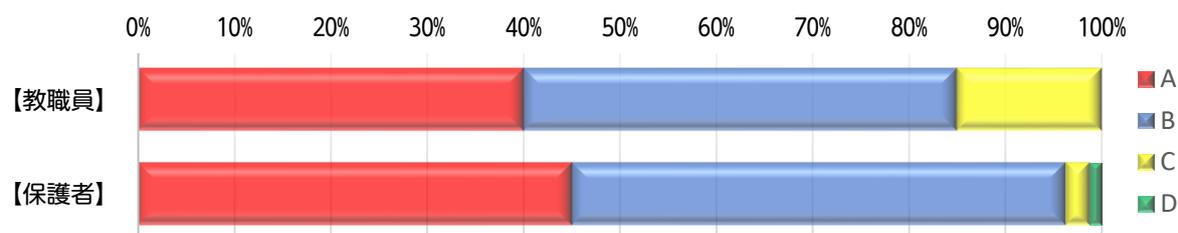
- ④ 相手を受け入れWinWinの関係を築く集団作りを意図して指導している (教職員)  
 困っている人がいたら助けて、友達と仲良く生活していますか (児童)  
 学校は、子どもの努力を認めたり励ましたり、温かく接している (保護者)



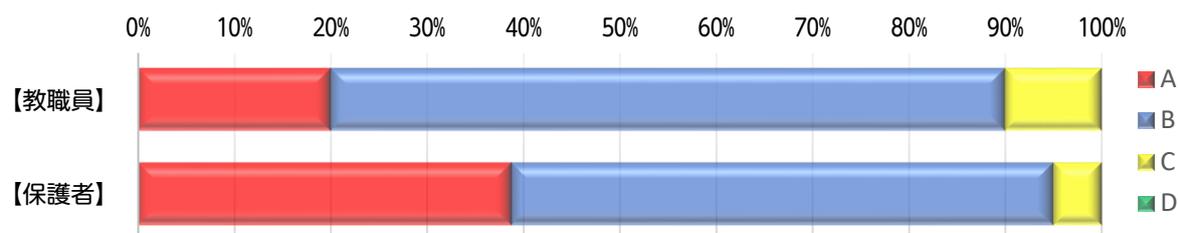
- ⑤ 「笑顔」で「ありがとう」と言い合える関係づくりを意図して指導している (教職員)  
「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしていますか (児童)  
お子さんは、「笑顔」で「ありがとう」と言ったり、言われたりしている (保護者)



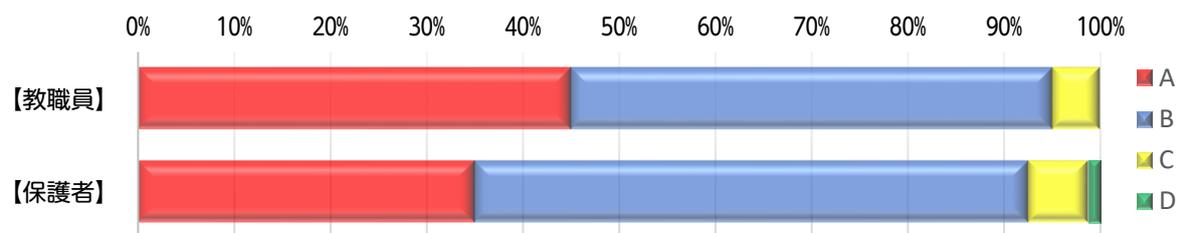
- ⑥ 通信・面談・電話等で、子どもたちの様子を積極的に伝えている (教職員)  
学校は、子どもたちの学校での様子をわかりやすく伝えている (保護者)



- ⑦ 健康・体力向上に向けた学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)  
学校は、健康・体力向上に向けた教育活動を行っている (保護者)



- ⑧ 安心・安全な学校づくりに積極的に取り組んでいる (教職員)  
学校は、安全対策 (各種訓練、防犯教室等) を適切に行っている (保護者)



学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。また、学校改善のアイデアとして10名の方から記述をいただきました。アンケートの結果を生かし今後も学校改善を進めてまいります。

# 令和7年度岩見沢市立岩見沢小学校学校評価(後期)

保護者からの記述回答一覧	学校評価アンケートへの学校からの回答
<p>いつも親身にサポートしてくださり、ありがとうございます。 色々と特性があり、恐らく学校でも小さな困難に沢山ぶつかっているのだろうな…と日々想像しておりますが、それでも『明日の学校も楽しみだなあ!』と笑う子どもの姿を見て、そのような環境を与えてくださる小学校の職員の方々には感謝しかありません。 ありがとうございます。</p>	<p>たいへん職員の励みになるお言葉をありがとうございます。今後も、お子さんの日々の頑張りの小さな変化にしっかりと寄り添い、自信を深めていけるような指導・支援に努めてまいります。</p>
<p>賞状を学校へ持参して皆様にお褒めいただき、やめようと悩んでいた水泳のやる気が上昇したようです。様々な工夫のおかげで楽しく学校へ通えています。いつもありがとうございます。</p>	<p>子どもたちの努力の成果や活躍を共有できたことについては、本人のみならず、周囲のお子さんの励みにもなります。今後も、学校ブログや通信、全校朝会などを通じて、一人ひとりの活躍を積極的に紹介し、互いに認め合い高め合える学校づくりを推進してまいります。</p>
<p>毎日のお便りで写真も多く、クラスの様子や雰囲気、学習の進捗状況などわかりやすく伝えていただいています。お忙しい中、お便りを毎日使っていただきありがとうございます。</p>	<p>たいへん職員の励みになるお言葉をありがとうございます。今後も、学校ブログや通信を通じてお子さんの学習や学校生活の様子をお伝えしていきます。</p>
<p>いつもありがとうございます。 秋は様々なイベントが続き、緊張して発表に挑む姿など、普段の家の様子とは違う姿を見る機会がありとても嬉しく思います。 参観日等も、高学年になっても沢山の保護者の方が参加されていて、明るく賑やかな良い雰囲気の岩見沢小学校だからこそだと感じます。これからも楽しい学校生活を送ってほしいと思います。 アイデアは特にありませんが、これからもよろしく願います。</p>	<p>心温まるお言葉をいただき、ありがとうございます。また、保護者の皆様が温かくお子さんをも守り参観してくださるおかげで、学校全体に明るく活気ある雰囲気が生まれております。これからも、お子様一人ひとりが主役となり、個性を光らせて活躍できる場面を創り出していけるよう、特色ある教育活動を展開して参ります。</p>
<p>保育園では、インフルエンザなどの感染者が出た時、「インフルエンザ〇名、胃腸炎〇名」…と保護者向けにお知らせがあるのですが、そういうお知らせがあるといいなと思います。感染症が流行って来た時に、我が子にマスクをさせるなど対策もできますし、受診時に「学校でインフルエンザが〇人出ています」と伝えられるので…。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。お子様の健康管理や受診の際、周囲の流行状況を把握しておくことは非常に重要であると認識しております。今後は、感染症の流行の兆しが見られた際には、流行状況を適宜お知らせできるよう体制を検討してまいります。お子様が健康に学校生活を送れるよう、引き続き迅速な情報共有と感染症対策への啓発に努めますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>7時半から登校できるようになると助かります</p>	<p>登校時間に関する貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。朝の慌ただしい時間帯にご苦勞されている保護者様のお声として、真摯に受け止めております。職員の勤務時間は、8:05～となっております。7時30分の段階で安全な受入れと指導体制を確保することが難しく、万が一の事故や怪我に対応が難しい状況です。お子様の安全な学校生活を守るための判断ですので、現在の登校時刻8:00のルールにつきまして、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>
<p>以前は毎年クラス写真を購入出来たから良かったのですが、クラス写真をiPadに入れて持ち帰りして貰いたいです。カラーの通信は見やすくありがたいのですが、保存となると写真として残したいと思っています。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。現在iPadは学習専用の端末として運用しており、配布データも学習目的に限定しております。また、複数の児童が写り込んでいるデータの配布を行わないのは、昨今の情報セキュリティ上のリスクや、SNS等への意図せぬ流出・二次利用からお子様たちのプライバシーを守るための安全策でもあります。何卒、お子様の安全を第一に考えた運用であることをご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>給食当番の子がほとんど手洗いをせず、盛りつけなどを行なっているようだと言いました。 給食当番が手を洗っていないようだから、気持ち悪くて食べる気がしない。と子どもが言っていました。 給食当番の手洗いがきちんとされないのであれば、自分の分は自分でよそう様にするか、給食当番が使い捨て手袋を使用するなどした方が気が楽になります。</p>	<p>お子さんの安心・安全に関わる貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。これまで、感染症対策を含め、衛生指導について行ってきたところですが、十分に指導が行き届いていなかったことについて、申し訳ございませんでした。今後は一層の指導に努めて参ります。各ご家庭においても感染症対策のご指導のご協力をお願い致します。</p>